

編集後記

いよいよ北京冬季五輪・パラリンピックが2月4日から始まります。この大会に関しては、新型コロナウイルス感染症や他にも色々な諸問題がありますが、アスリートの方々はこの大会を目指して4年間鍛錬されてきたと思いますので、悔いのないよう全力で臨んでいただきたいと思います。私も家族と共に、日本選手団を応援させていただきたいと思います。

今月の「誌上ギャラリー」は馬場國昭先生から、聖徳太子を等身大で写した救世観音像が安置されている「夢殿」の写真が送られてきました。聖徳太子が今にも出てきそうで、何か不思議な感じがいたしました。ありがとうございました。

「論説と話題」では、会員受賞された先生方の受賞内容が掲載されています。受賞された先生方の並々ならぬご努力の賜物であり、その真摯なお姿に頭が下がります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。米盛公治先生より「桜島火山爆発総合防災訓練」、吉森みゆき感染管理認定看護師からは、「新型コロナウイルスワクチンのブースター接種後の副反応について」をご投稿いただきました。また、「医報に関するアンケート結果について」も掲載されており、様々なご意見を賜り、ご協力いただいた先生方には大変感謝申し上げます。

「医療トピックス」は、「鉄欠乏性貧血に使用する鉄剤について」解説いただきました。第一選択薬は経口剤ですが、服薬困難や吸収障害等経口剤が使用困難な場合が注射薬であり、内服剤ではクエン酸第二鉄が追加適応となり注射剤では、カルボキシマルトース第二鉄が承認されたとのことでした。

「学術」は瀬戸口啓夫先生より「低栄養はリウマチ患者の手術部感染リスクを増加させるか？」とのご寄稿で、やはり低栄養状態は手術部位感染発症のリスクがあるとのことでした。

肝付洋先生には、「うつ病とは？」を教えていただきました。内科医会例会で溝口充志先生がご講演された「健康維持のためのバランス、バランス、さらにバランス」

を、また外科医会秋季例会症例検討会で「興味ある症例」として発表された5例を掲載させていただきました。各先生方貴重なご報告ありがとうございました。

「医師会病院だより」では石崎直樹先生から外科の現状として昨年手術症例は、若干の減少はあるもののこの厳しいコロナ禍であっても、皆様のおかげもあり健闘されているとのことでした。これからも、紹介のほどよろしく願いいたします。

「随筆・その他」の切手が語る医学のコーナーでは古庄弘典先生より「医学部創設・結核療養所」切手が紹介されています。いつも貴重な切手ありがとうございます。また随筆のコーナーでは粟 博志先生から第1部4パート目となる大作が、またリレー随筆では熊原悠生実先生より「もしも奄美から足柄まで金魚を運ぶことになったら」と題して、愛情あふれる心温まるエピソードが綴られております。今後のご活躍を陰ながら応援しております。ご投稿ありがとうございました。

「特集」では、令和3年第2号～令和4年第1号誌上ギャラリー作品集です。いつも鹿児島ドクターズフォトクラブの先生方には力作を、ご寄稿していただき感謝しております。これからもよろしくお願い申し上げます。

「各種部会だより」は市内科医会例会、市外科医会秋季例会、泌尿器科医会総会の報告です。どうぞご一読ください。

「各種報告」では理事会の概要、令和3年度鹿児島市学校心臓検診、令和3年度鹿児島市学校腎臓検診、令和3年度鹿児島市学校糖尿病検診、令和3年度鹿児島市医師会小児生活習慣病予防検診が報告されています。ご参照ください。

新型コロナウイルスの新たな変異株オミクロン株の感染急増で、まん延防止等重点措置の適用が全国で広がってきております。3回目ワクチン接種と新型コロナウイルス経口治療薬の早期普及を願い、この難局を乗り切っていくしかないと思います。皆さんも何とか耐え抜いて、頑張っていきましょう。

(編集委員 角 純啓)